

# 新しくなった展示の特徴

## 1. 富山の自然を時間の視点と空間の視点から紹介する。

新しくなった展示は1階「とやま・時間のたび」、2階「とやま・空間のたび」、「おもしろ実験ひろば」、3階「宇宙へのたび」、に分かれています。

「とやま時間の旅」では、現在の私たちが見慣れている富山の大地がどのような過程でできてきたのかを紹介します。また、富山市大山で発見された恐竜足跡露頭化石なども紹介します。

「とやま空間の旅」では、標高 3000m の立山から水深 1000m の富山湾の海底までを標高別に「高山」、「山地」、「丘陵と平野」、「海」に分け、さらに、それらをつなぐ「急流河川」を含めた5つのゾーンについて、それぞれの場所の自然の様子や人と自然とのかかわりについて、標本や解説の他、体験型の実験装置なども利用して、紹介します。

「おもしろ実験ひろば」には楽しくて不思議な科学実験装置の他、錯覚の部屋があり、科学の面白さを体験できます。

「宇宙へのたび」では隕石や衝突実験、美しい天体写真などから宇宙について紹介します。

これらの展示の他、「とやま・ノーベル賞受賞者コーナー」では、富山市にゆかりのノーベル賞受賞者、田中耕一さんと利根川進さんの紹介、さらに、田中耕一さんのノーベル賞受賞を記念して創設された「ジュニア科学賞・とやま」の受賞者を紹介します。

## 2. 科学の楽しさを紹介する。

「おもしろ実験ひろば」のさまざまな科学実験装置のほか、「宇宙へのたび」、「とやま空間のたび」に設置されている実験・体験装置をとおして科学の楽しさを体験できます。

## 3. 標本を多用した展示

展示室には岩石や化石の標本、昆虫やけものなどの生き物や植物などの標本が多く展示されています。これは、自然に関する資料を多数保有している富山市科学博物館ならではの展示です。展示された標本は、富山の成り立ちや自然のようす、そして、自然と人とのかかわりを物語っています。

## 4. 階層分けした展示解説

展示室での解説は、マンガによる入門レベルの解説、グラフィックパネルによる一般解説、さらに、研究デスクによる詳細解説の3段階に分かれており、解説される内容はこの順に高度になります。

マンガによる解説は、今回の展示で新たに取入れたもので、ネーチャーガイドを目指す問屋さん一家(通称トンボさん一家)が富山のさまざまな場所で自然観察をしながら、富山の自然の不思議さや面白さ、人と自然とのかかわりについて発見していきます。

また、一般の方を対象とした解説パネルも充実させました。さらに、それぞれの分野でより深く知りたい方のため、研究デスクによる解説もとりいれました。この研究デスクには、各学芸員の専門領域での研究成果も盛り込まれています。